

## 宇都宮大学大学院工学研究科博士後期課程

### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科は、高度な工学的専門能力を身に付け、自主的に課題を解決できる指導的な人材養成を行い、産業界を中心に広い視野で活躍する人材を輩出するために自然環境および人工環境と人類との共生を目指し、持続可能な社会の形成に寄与する高水準の研究を推進することを理念としています。

そのために、工学研究科博士後期課程では次のような能力、資質、意欲をもつ入学者を求めます。

- 専門分野に関する十分な基礎学力、幅広い教養、豊かな行動力と深い洞察力、ならびに倫理観をもつ人。
- 問題解決に向けた高度な専門知識の修得に意欲をもち、創造的な能力を身に付けたいと考えている人。
- 常に問題意識をもって新たな課題を自ら見出し、解決に向けて論理的に考究する意欲をもつ人。
- 自主性と協調性を備え、高度な専門知識・技術の応用、ものづくりとデザインを通じて持続可能な社会の形成に貢献したいと望む人。
- 先端的な工学技術に関する研究に従事したいと考えている人。
- 深い学識と高度な技術修得に裏付けられた高い研究能力を身に付けて、後進の人材育成に携わりたいと考えている人。

### 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

本研究科博士後期課程では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、教育目的達成のため次の教育課程編成・実施の方針を定めています。

- それぞれの工学分野において、社会のさまざまな要請に応え、新たな課題の定立とその解決能力を高めるべく、基幹的専門分野について幅広く学ぶ副専門研修と、技術開発の現場における双方向インターンシップを選択必修科目として設けている。
- それぞれの工学分野における先端的専門分野の修得をめざして、循環生産工学コース、機能創成学コース、知能情報学コース、および学際先端システム学コースの4つのコースを設け、それぞれ多様な内容の選択科目を設けている。
- 先端的専門分野における研究を通した論文作成をカリキュラムの中核と位置づけ、研究を通して特定分野の深い専門知識を身に付けるべく、主任指導教員1名と副指導教員2名による3年間の一貫した指導を行い、それら集大成である論文の作成と学協会誌への投稿・掲載を通して、高度専門知識と技術の総合化を図る。

### 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本研究科博士後期課程は、以下の学修・教育目標をすべて達成し、所定の単位を修め、論文審査に合格した者に対して学位を授与します。

- 深い学識と高度な技術修得に裏付けられた高い研究能力を身に付けること。
- 高度先端技術の研究者、教育者として必須の基礎知識、専門知識、広い視野および確固とした倫理観を身に付けること。
- 社会における工学専門分野の果たす役割を深く理解し、持続的社会形成に向けた問題意識をもって研究を行えること。
- 研究成果を分かりやすく説明し、その意義を広く社会に対して発信できるコミュニケーション能力を身に付けること。